

委員会所管事務調査テーマ

「ジオパークの取り組みについて」に関わる提案（案）

飯田市議会総務委員会

はじめに

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークは、対象区域のある伊那市、富士見町、大鹿村及び飯田市の4市町村及び関係団体で協議会を設立し、平成20年にジオパークとしての認定を受けました。以後4年毎に再認定を受けてきましたが、令和2年の再認定審査において、条件付き再認定となりました。これにより、本来4年間の認定機関が2年間の認定となり、2年後の審査に合格しなければ認定を取り消されることとなりました。

ジオパークは、「地質、地形から地球の過去を知り、未来を考えて活動する場所」とされており、地形、地質といった地域資源を生かした教育、環境等の地域振興の取り組みと位置付けられています。

ジオパークの再認定を受けることは、こうした地域資源を生かした教育や、観光等の地域振興の場の確保につながります。また、対象地区のある遠山地区は、将来の三遠南信自動車道の開通により、観光客の流入増も見込まれ、そのほかのジオパーク対象地域や、市内の観光地・地域資源とのさらなる連携による相乗効果も見込める状況にもなります。

当委員会では、この課題を所管事務調査研究テーマに位置付け、県外他自治体等の先進的な取り組みの視察を実施するとともに、議会による行政評価を通して委員間での議論、共有を進めてきました。

これらの委員会活動をとおして委員間で共有確認できた事項について次のとおり提案いたします。

1 提案事項

ジオパークの取り組みについての庁内連携の拡大・深化を進めるとともに、観光を起点とした地域振興につなげるために、将来的には所管部局又は課の変更を検討されたい。

【視点】

- ・ジオパークは、「地質、地形から地球の過去を知り、未来を考えて活動する場所」とされており、地形、地質といった地域資源を生かした教育、環境等の地域振興の取り組みと位置付けられている。
- ・管外視察を行った他自治体でも、単に特徴的な地形等の発信に留まらず、その地で脈々と受け継がれてきた人々の歴史や、暮らしとリンクし、地域振興、観光振興の視点を高めることで、ジオパークへの取り組みの継続性を高める活動を行っていた。